

やまびこ

No.50

2年

50周年記念特集号



西村山教育振興会

紙ひこうき、とべ！

宮 宿 花 山 絃 子

八月十四日に、はい校になってつかわれなくなつた大ぐれ山分校で、「白い紙ひこうき大会」がありました。雨がふりそうな天気でした。わたしは、お父さんとおねえちゃんと三人で行きました。

大ぐれ山分校は、木でできていて、とてもふるい学校でした。わたしは、びっくりしました。

どれくらい気もちよくとぶかという「グッドフイーリングぶもん」がいっぱいなので、遠くまでとばす「ロングフライトぶもん」にさんかしました。

さいしょに、うけつけで、もうしこみようしに名前を書きました。シールに名前を書いてもらって、ぼうしのところにはりました。

かい会しきがおわってから、体いくかんに行ききました。紙をもらって、お父さんに教えてもらって、紙ひこうきを作りました。十三センチぐらいのができました。

紙ひこうきを作った後、分校の二かいの教室から、グラウンドにむかって、じゅんばんにとばして行ききました。右へ行ったり、左へ行ったりして、なかなかうまくとびません。

五十六番目に、おねえちゃんがとばしました。

「遠くまでとべえ。」

と思いましたが、すぐおちて七メートルでした。

いよいよ、わたしの番です。ひこうきのうしろをもつてとばしました。あんまり思いきりなげると下におちるから、まっすぐとぶようにちゅういしました。わたしは、

「おねえちゃんの分まで、遠くまでとんでいけ。」

と思いました。

そしたら、ふわりふわりとまっすぐにとびました。二十メートル九十センチもとんで、ロングフライトぶもんで一いになりました。自分でもびっくりしました。

へい会しきで、しょうじょうとミッキーのピンクのタオルと大きなスイカをもらいました。わたしは、「どうもありがとう。」

と、紙ひこうきにおれいを言いました。

あとがき

。百点の作文と、九十二点のしをいっしょうけんめい読んでみました。読んでみると、書いた人の顔やいろいろなようすが、目にうかんできました。みんなががんばって書いたことがよくわかり、うれしくなりました。その中から、作文四十六点とし十二点をえらんでのせました。みんな読んでください。

。どくしょかんそう文ものせました。地区のしんさでにゅうせんした作品三点です。本を読んで、つよく心にのこったことを、じぶんの生かすとむすびつけて書いているよい作品です。

。「みんなで読もう」や「作文のべんきょう」「しのべんきょう」には、自分の目や手、耳、口、頭などをたくさんつかって、くわしく書いてある作品をのせました。みんなで読み合って、どんなところがよいか話し合ってください。

。ことは、うちの人といっしょにしたことや見たことを書いた作文のなかに、生き生きと生かすみなさんのようすが、とくによくあらわされているなとかんじました。また、うちの人への思いやりや、やさしい気もちがつつわってきて、読んでいてうれしくなりました。

。毎日のくらしの中で、こころにかんじたことをよく思い出して、そのままどんどん作文やしに書いてみましょう。

。文集のおわりに、四十号から四十九号の中から作品をえらび、50周年記念特集をくみました。どんなところがすぐれているのか、みんな話合ってみましょう。

編集委員

| | | |
|-----------------|----------------|-----------------|
| 荒木美知子 (寒河江中部) | 菅井 弓子 (南部 小) | 石山和香奈 (柴 橋 小) |
| 木村 節也 (高 松 小) | 原田佳代子 (田 代 小) | 庄司百合子 (三 泉 小) |
| 茂木美沙子 (谷地中部小) | 西長 和彦 (睦 合 小) | 大場 弥恵 (西 山 小) |
| 田宮 美保 (入 間 小) | 金子 茂 (左 沢 小) | 小北 茂子 (本 郷 西 小) |
| 石山 志保 (七 軒 東 小) | 田代 拓 (寒 河 江 小) | 橋 孝志 (西 根 小) |
| 小山田奈穂子 (白 岩 小) | 鈴木ちふみ (宮 宿 小) | 川村 裕子 (本 郷 東 小) |
| 黄木 定 (立 木 小) | 茨木 真 (柴 橋 小) | |

「やまびこ」 第 50 号

〔非売品〕

平成11年11月21日印刷
平成11年12月15日発行

発 行 西 村 山 教 育 振 興 会
印 刷 田 宮 印 刷 株 式 会 社

山形県河北町谷地 TEL 河北 (72) 3125 (代)